



事務連絡
平成19年8月20日

農林水産省生産局畜産部畜産振興課 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

ブタの飼育施設等における防蚊対策について

感染症対策につきましては、平素より多大な御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

日本脳炎につきましては、日本脳炎ワクチンの予防接種と重症の ADEM（急性散在性脳脊髄炎）との因果関係を肯定する論拠があることから、平成17年5月以降、予防接種の積極的勧奨を差し控えているところでございます。その後、2年を経過し、新たなワクチンの開発が遅れていることもあり、予防接種を受けない世代が増加している状況にあります。

そのような状況の中、本年も、日本脳炎の流行の時期を迎え様々な対策が必要となっているところでございまして、当省としても、ポスターによる注意喚起や防蚊対策の啓発に努めているところでございます。

ヒト→蚊→ブタからなる日本脳炎ウイルスの感染環の形成をできるだけ抑制するためには、日本脳炎の媒介蚊であるコガタアカイエカの性質を踏まえると下記の対策に一定の効果が期待されているところでございます。

つきましては、貴職におかれましても、下記の点について、各都道府県関係部局を通じてブタの飼育関係者への周知をしていただきますよう、よろしくお取りはからい願います。

なお、厚生労働省の HP に日本脳炎に関する Q&A を掲載していることを申し添えます。HP のアドレスは、<http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/nouen/index.html> です。

記

1 ブタが蚊にさされない環境作りについて

豚舎において、媒介蚊（コガタアカイエカ）との接触を避けるために戸内の豚舎での飼育に努めること

2 豚舎内の蚊の駆除について

豚舎内の蚊を駆除するために、豚舎内の壁面や防鳥ネット等への定期的な薬剤（ピレスロイド系）の散布等に努めること。

(参考)

- ・ コガタアカイエカは、小さな水たまりではなく、水田や沼地に生息します。
- ・ 蚊は、吸血すると、その後壁面に留まり休息する性質があるため、豚舎内の壁面や防鳥ネット等への薬剤の散布が効果的です。
- ・ 有機リン系の殺虫剤では、コガタアカイエカに耐性が生じることが認められているため、ピレスロイド系の薬剤を使用する必要があります。



農林水産省生産局畜産部畜産振興課長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長

ブタの飼育施設等における防蚊対策について

感染症対策につきましては、平素より多大な御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

日本脳炎につきましては、因果関係は明らかにはされていないものの、予防接種後副反応報告として報告された ADEM（急性散在性脳脊髄炎）は、平成6年度からの13年間に21件あり、予防接種法に基づく健康被害救済認定を受けた方の数は、平成元年から平成19年3月までに16件となっています。ADEMは様々な要因で発症しますが、平成17年5月に、日本脳炎ワクチン接種後に重症の ADEM を発症した事例が生じたことを踏まえ、それ以降、予防接種の積極的勧奨を差し控えているところでございます。その後、3年が経過したものの、新たなワクチンの開発が遅れていることもあり、予防接種を受けない子どもたちの世代が増加している状況にあります。また、昨年は、子どもの日本脳炎患者の発生例は報告されていないものの成人の発生が10例報告されています。

そのような状況の中、本年も、日本脳炎の流行の時期を迎えて、当省としても、ポスターによる注意喚起や防蚊対策の啓発に努めているところでございますが、ブタ→蚊→ヒトからなる日本脳炎ウイルスの感染環の形成をできるだけ抑制するためには、日本脳炎の媒介蚊であるコガタアカイエカの性質を踏まえると下記の対策に一定の効果が期待されているところです。

つきましては、貴職におかれましても、下記の点について、各都道府県関係部局を通じてブタの飼育関係者への周知をしていただきますよう、よろしくお取りはからい願います。

なお、厚生労働省及び国立感染症研究所のHPに日本脳炎に関するQ&Aを掲載していることを申し添えます。HPのアドレスは、<http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/nouen/index.html>、<http://idsc.nih.go.jp/disease/JEncephalitis/QAJE.html>及び<http://www.nih.go.jp/virl/NVL/JEVMeeting.htm>です。

記

1 ブタが蚊にさされない環境作りについて

豚舎において、媒介蚊（コガタアカイエカ）との接触を避けるために戸内の豚舎での飼育に努めること。

2 豚舎内の蚊の駆除について

豚舎内の蚊を駆除するために、豚舎内の壁面や防鳥ネット等への定期的な薬剤（ピレスロイド系）の散布等に努めること。

(参考)

- ・ コガタアカイエカは、小さな水たまりではなく、水田や沼地に生息します。
- ・ 蚊は、吸血すると、その後壁面に留まり休息する性質があるため、豚舎内の壁面や防鳥ネット等への薬剤の散布が効果的です。
- ・ 有機リン系の殺虫剤では、コガタアカイエカに耐性が生じることが認められているため、ピレスロイド系の薬剤を使用する必要があります。
- ・ 豚舎にライトトラップ（ブラックライトの蛍光灯）を設置し、蚊の駆除を行うことも豚から吸血する蚊の数を減少させる効果が期待できます。